



▲報道機関向け
『「育都」新未来投資予算』を説明

今年も長い時間をかけて、多くの人の意見を聞き、悩みに悩みながら、新年度予算案をまとめました。そして仕上がった予算案を「育都新未来投資予算」と名付けました。

古都、商都など、都市の特徴を表す言葉はよく使わ

こんにちは!!

市長です

Vol.64

「育都(いくと)」

れますが、「育都」という言葉はなじみがありません。「育都」は、新年度予算を編成する中で生まれた言葉で、子育て施策を充実させ、子どもを大切に育てていくまちであることを表現した造語です。

給食費や保育料の無償化などの経済的な支援だけではなく、将来を担う未来ある子どもたちを、夢と希望を持って、地域全体で大切に育み、「渋川に生まれて良かった」、「この町で子育てをしたい」などと思ってもらえるように、施策を充実させていこうという決意を表すものでもあります。

子どもが育つ環境が良くなることで、地域全体が元気になるはずです。「育都」をつくるのは、市民の皆さん一人一人の力にかかっています。

電子地域通貨「渋Pay」は、決済額の1%を子どもたちの未来のために、「子ども夢基金」に積み立てる仕組みになっています。「渋Pay」の利用でも「育都」づくりに参加できます。市民総参加で、日本一の育都・渋川を目指しましょう。